

# 5月12日(金)～6月9日(金) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : 大島 佑介



大島 佑介

1985年栃木県生まれ。父親の影響でキース・ジャレット、ビートルズが好きになる。映画『トレインズ ボettings』でアンダーワールドのボーン・スリッピーを聞いてからは、高校、地元のクラブでボランティア・スタッフをしながらDJを少しばかりスタート。2006年、ヘアサロン「twiggly.」に入社。カラーリストとしてサロンワークに奮闘中。入社後9年間、日々のコンディションを考えながら、新旧様々なジャンルの音楽をとり混ぜ、サロン内の選曲を続けている。

## 今回のセレクトCD

1.



**JBM / Not Even In July** (Partisan / PTSN-007)

JBMはカナダ出身のシンガー・ソングライター、ジェシ・マーチャントによる個人のプロジェクト。胸を打つ静謐なアコースティック・ギターを中心としたシンプルな音に、チェロ、ヴァイオリンといったストリングスが優雅に重なり、メランコリックで穏やかな音の中、澄みきったヴォーカルが響く。

2.



**Greater Alexander / Positive Love** (Greater Records / 859707908986)

こちらまた、澄んだ歌声のシンガー・ソングライター。現代版のサイモン&ガーファング的な雰囲気すら漂う。フィルターをかけたようなワルツ調のリズムに、心温まる柔らかなアコースティック・サウンドに乗せてハイトーン・ヴォイスが優しく語りかける。セピア色の野原に咲く一輪の花のような魅力を感じる。

3.



**Jameszoo / Fool** (Beat / BRC-513)

Flying Lotusのレーベルから、一押しの若手プロデューサーとして注目を集めているJameszoo。ジャズをエレクトロ・ミュージックにまとめあげる、独特な未来形のプロデューサーだ。2016年に来日の際、渋谷Circus TokyoでおこなったDJセットでは、スティーヴ・ライヒ×バット・メセニーのElectric Counterpoint から、エフェックス・ツインの Windowlicker など、エキセントリックなプレイに魅了された。

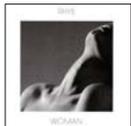
4.



**jan and naomi / Leeloo and Alexandra** (Hot Buttered Record / HBRCD-002)

昨年、何度ライブに足を運んだことか。ぼくの人生で、深夜に目を擦りながら追いかけたアーティストは彼らが初めてだった。音楽に浸っているのか、ほぼ寝ているのか、よくわからないままライブは終わり、拍手で我に帰る。アシッド・フォークというのか、深い夜に響く狂喜? 静寂? 幻想? なのか。その音の世界観は素晴らしい。

5.



**Rhye / Woman** (Polydor / 060253716952)

ぼくの2013年度の、ベスト中のベスト。現代の新しい音楽のムーブメントはきっとここから始まったのかなと思う。ピアノの旋律と私的なストリングズからなる、モダンでどこかアンニュイな、ネオ・ソウル、ディスコ、ファンク…。繊細でありながら、新たな未来を感じさせる。